令和７年度　３年生

総合ビジネス科

科・コースガイド

高崎商科大学附属高等学校

【国語科　シラバス】

科目名	論理国語			使用教材	教科書	新編論理国語（大修館書店）
学　年	3	単位数	2		副教材	学習課題ノート（大修館書店）
科・コース	普通科　進学コース					

【授業の概要】

国語で主体的・対話的で深い学びをとおして、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的に考えたり批判的に読んだりする力・他者に共感する力・想像する力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高める態度を育てます。また、言葉がもつ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身につけるとともに、生涯にわたって読書に親しむ態度を養い、他者や社会に対する関心を育む態度を育てます。

【学習方法と授業の進め方】

「論理を培う」「論理を活用する」の２部構成となっています。第３学年では第Ⅱ部「論理を活用する」を学習し、基礎的な論理的思考力を育みます。ＡＩ（人工知能)、コミュニケーション、自然科学、情報社会とメディア、環境問題、労働と生きがいなど、現代社会を生きる上で重要となるさまざまなテーマを押さえ、生徒の興味・関心を喚起します。

【学習評価】

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすることができているか。 ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めることができているか。また文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など，文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができているか。 ・主張とその前提や反証 など情報と情報との関係について理解を深めることができているか。	定期考査、授業中の小テスト等
②思考・判断・表現	・立場の異なる読み手を説得するために，批判的に読まれることを想定して，効果的な文章の構成や論理の展開を工夫することができているか。 ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり，根拠や論拠の吟味を重ねたりして，主張を明確にすることができているか。 ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど，文章全体の論理の明晰さを確かめ，自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫しているか。	定期考査、論述、レポートの作成、発表、グループでの話し合い等
③主体的に学習に取り組む態度	・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めようとしているか。 ・人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深めることができているか。 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に，必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすることができているか。	ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察、生徒による自己評価や相互評価等

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

・授業に臨むに当たって、読みなどの予習は最低限やっておいて下さい。
・漢字や語句の意味調べも、事前にできる限りやっておきましょう。
・授業には積極的に参加し、分からなかった部分は質問して、解決しましょう。
・提出物の期限は、厳守してください。
・日ごろから新聞などを読む習慣を身につけましょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	1自己を見つめて	【読む】探究する力（竹内薫） AI時代の人間の在り方について考える。	4	
	5	3社会に向かって	【書く】自分を客観的に見つめよう ライフチャート作成を通して自己分析を行う		
	6	3社会に向かって	【書く】志望先への提出書類 どのような提出書類が必要かを知る。 提出書類を書くために何が必要かを知る。 志望理由を書くために必要な情報を集める。		
	7	3社会に向かって	【書く】自己推薦書を書こう 準備メモを活用して具体的内容をふくらませる。 構成メモを作り、自己推薦書を書いてみる。 お互いに書いてみた自己推薦書を評価し合う。		
第2学期	9	5問いを深めて書く	【書く】テーマ型小論文 小論文の基本的な型を確認しつつ書く。 的確にテーマ把握をした上で書く。	9	
	10	6統計資料を活用する	【読む】課題文型小論文 課題文の出題意図について考える。 課題文の要約を行う。 課題文の内容に対して自らの意見を持つ。 自らの意見を論理的に表現する。		
	11	4視点を変えて	【読む】クオリアと心（西垣通） 複数の文章を比較･分析しながら読み考えを深める。		
	12	5未来に目を向けて	【読む】人口減少社会の到来 社会の一員として広い視野で物事を考える。		
第3学期	1	5未来に目を向けて	【書く】人口減少社会の到来 社会問題に対して自分の意見を持つ。 社会問題に対して他者と意見を認め合う。		
	2				
	3				

【地歴科　シラバス】

科目名	歴史総合			使用教材	教科書	歴史総合（実教出版）
学　年	3	単位数	2		副教材	歴史総合演習ノート（実教出版）
科・コース	総合ビジネス科　会計コース・総合ビジネスコース					

【授業の概要】

18 世紀から現在に至るまでの近現代史を対象とし、300 年にわたる「世界とそのなかの日本」について学ぶ。世界と日本は深い関係があり、歴史は常に動いている。「歴史は繰り返す」とよく言われるが、私たち人間が同じ過ちを繰り返さないためにも、現代社会がどのような変遷を経て近代化・大衆化・グローバル化して構築されたのか、また現代社会が抱える諸問題はどのように形成されたのか等を、世界と日本の歴史を比較・関連づけて多面的・多角的に考察し、歴史的なものの見方・考え方を身につけ、現代に生かせる知識を過去から学び歴史的思考力を養う。

【学習方法と授業の進め方】

中学までの学習及び「歴史の扉」の学習をふまえ，諸資料を活用して情報を読み取ったりまとめたりする技能を取得し，人々の生活や社会のあり方が近代化にともない国際社会とのかかわりの中でどのように変化したかを考察する。歴史は暗記するだけの科目ではないので、5W１H を意識して、歴史的事象を時期・推移などに着目し、類似や差異などを明確にし、事象同士を因果関係などで関連付けるなどして多角的・多面的に理解し、歴史的な見方や考え方を通して現代社会が抱える諸問題に繋げて考察し、発表や討論等を通して表現力を身に着けるとともに、他者理解を深めていく。

【学習評価】

定期考査及び下記の観点別評価により総合的に評価する。

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	・歴史の変化・発展の背景には原因・結果の法則があることを理解できたか。 ・諸資料を活用して的確な情報を収集・選択し、読み取り理解できたか。 ・近代社会が形成される歴史的過程と生活・文化の地域的特色について基本的な事柄を理解し、その知識を身につけることができたか。 ・課題やレポート作成において，的確に表現する方法を習得しているか。	・定期考査の知識・理解に関する問題 ・演習ノート ・課題プリントへの取り組み ・ノートの作成状況
②思考・判断・表現	・歴史の変化・発展の背景には原因・結果の法則があることを説明できるか。 ・自分と違う考え方の人と話し合うことで深く考えることができたか。 ・課題やレポート作成において，多面的・多角的に考察して歴史的思考力を養い、的確に表現することができたか。	・定期考査の思考・応用問題（資料読解・論述問題） ・演習ノート ・課題プリントへの取り組み ・ノートの作成状況
③主体的に学習に取り組む態度	・歴史に興味関心を持ち、歴史的なものの見方・考え方をしているか。 ・諸資料を積極的に活用し、的確な情報を収集・選択して読み取ったりまとめたりする態度が見えるか。 ・授業に意欲的に参加し，現代社会の身近な諸問題と関連付けた主題を設定し、社会的事象の歴史的な背景などを説明・論述・言語活動を通じて論理的に探究しようとする態度が見えるか。 ・学習内容について振り返り，日常生活や社会に生かそうとしているか。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・討論や発表 ・課題プリントへの取り組み ・ノートの作成状況

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

・予習　　教科書・演習ノートを参考に、どんなことを学ぶのかを把握する。
・授業　　授業で学ぶ知識には構造があるので、丸暗記ではなく、関連性を持たせて理解する。
・復習　　歴史の流れや原因・結果を考えながら教科書を読み、学んだことをその日のうちに理解する。わからないところは自ら調べ、友達や先生に質問する。
・演習　　教科書・演習ノートのアクティブで学んだ知識を活用して、諸資料を使用し多面的・多角的に考察しながら、的確な表現の仕方を身に着け、演習ノートの章末問題をやる。
・ノート　ノートは第２の記憶。早く見やすく書く。板書以外の口頭説明も必要に応じてメモをとる。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	第１編　近代化と私たち 第１章　近代化への始動 １．江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 ２．江戸時代の生産・流通と諸改革 ３．幕政の改革と東アジア世界	○17 世紀に東アジアでできた体制について ○商品作物の生産と流通が国内外に与えた影響 ○欧米諸国の接近に対して日本と清がとった対応	9	
	5	第２章　欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 ４．イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 ５．フランス革命とウィーン体制 ６．アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 ７．オスマン帝国の衰退とロシア ８．アヘン戦争の衝撃と日本の開国 ９．江戸幕府の滅亡	○イギリス産業革命やアメリカ独立戦争の原因・展開・結果 ○フランス革命とウィーン体制下の政治体制の変化 ○領土拡大下で生じたアメリカ合衆国の問題。 ○東方問題とロシアやオスマン帝国の変化 ○アヘン戦争に対する東アジア諸国の対応 ○将軍や各藩がつくろうとした政治体制	1 3 9 10 16	
	6	第３章　欧米諸国と日本の国民国家形成 10．イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツ統一 11．明治政府の諸改革 12．日本のアジア外交と国境問題 13．自由民権運動と大日本帝国憲法	○19 世紀後半のイギリス・フランス・イタリア・ドイツにおける政治上の動き ○明治政府がすすめた国づくり ○日本の国境画定 ○自由民権運動がめざした国家とは何か	4 9 10 16	
	7	第４章　帝国主義の時代 14．帝国主義の時代へ 15．朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 16．日清戦争後の東アジア 17．日露戦争と東アジアの変動 18．日本の産業革命	○なぜ欧米諸国は帝国主義政策をすすめたのか。 ○日清戦争の目的は何か ○日本と中国や朝鮮との関係の変化 ○日露戦争の影響 ○産業革命による日本の経済と社会の変化	4 9 10 16	
第2学期	9	第２編　国際秩序の変化や大衆化と私たち 第５章　第一次世界大戦と大衆社会 19．第一次世界大戦 20．ロシア革命とソ連の成立 21．米騒動と大正デモクラシー	○第一次世界大戦はなぜ世界を巻きこんだのか ○ソヴィエト政権はなぜ人々から支持されたのか，また革命が成功した背景は何か ○米騒動のなかで人々が求めたものは何か	1 5 10 16	
	10	22．ヴェルサイユ体制とワシントン体制 23．アジアの民族運動 24．第一次世界大戦後の欧米諸国 25．ひろがる社会運動と普通選挙の実現	○大戦後の国際秩序構築の目的 ○第一次世界大戦後のアジア各地でなぜ民族運動が活発になったのか ○第一次世界大戦後の欧米諸国の動き ○社会運動をになった人々が求めたものは何か	3 5 10 16	
	11	第６章　経済危機と第二次世界大戦 26．世界恐慌と各国の対応 27．ファシズムの時代 28．満洲事変と軍部の対立 29．日中戦争と戦時体制	○世界恐慌が各国の経済や人々の生活に与えた影響 ○ヒトラー率いるナチ党政権の特徴 ○日本の国際的孤立への道 ○中国との戦争が長期化したのはなぜか	9 3 8 10 16	
	12	30．第二次世界大戦の勃発 31．第二次世界大戦の終結 32．国際連合の成立と冷戦 33．日本占領と日本国憲法 34．朝鮮戦争と日本	○ヨーロッパでの戦いと日中戦争との関連性 ○戦争の終結について ○国際連合は設立の目的をはたせてきたか ○民主化政策による日本の変化 ○朝鮮戦争による連合国の対日占領方針の転換	3 4 5 10 16	

第3学期	1	第３編　グローバル化と 私たち 第７章　冷戦と脱植民地化 35．植民地の独立 36．米ソ両陣営の動揺 37．日本の国際社会復帰と 高度経済成長	○旧植民地の独立達成の経緯 ○強大な軍事力をほこった米ソの影響力が なぜ弱まっていったのか ○冷戦が与えた日本の政治と外交の変化	3 5 10 16	
	2	まとめ	○日本の近代化～戦後の復興までの復習		
	3				

【数学科　シラバス】

科目名	数学 A			使用教材	教科書	高等学校数学 A（数研出版）
学　年	3	単位数	2		副教材	Study-Up 数学 A（数研出版）
科・コース	総合ビジネス科					

【授業の概要】

高校数学の基本

　数学 A では中学校までの基礎知識を基にさらに体系的にまとめられた高校数学の基本的な内容を学習し、基本的な知識の習得とそれらの活用能力を伸ばします。

【学習方法と授業の進め方】

　各単元の基本事項の解説を行い、例・例題・基本問題と進み理解を深めていきます。小テストなどを随時実施して実力の向上と知識の定着をはかります。

【学習評価】

　年 5 回に行われる定期考査の成績に、宿題などの家庭学習・授業態度・出欠席を平常点として加えて総合的に評価します。

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	数量関係や図形などの基本的な概念や法則を理解し、事象を数学的に解釈したりする技能を身につける。	定期テスト 小テスト プリント など
②思考・判断・表現	数学を活用し事象を論理的に考察することで、法則や図形などの性質を発見できる。 数学的な表現を用いて事象を簡潔･的確に表す力を養う。	定期テスト 小テスト プリント グループ学習等の発表 レポート など
③主体的に学習に取り組む態度	数学的な活動の楽しさや数学の良さを実感し、数学の知識を生活や学習に活かそうとする態度、問題解決能力を養う。	授業態度 課題提出 など

【留意事項】

【予習】　数学は説明を聞いただけで理解するのは難しい。必ず予習が必要である。最低でも教科書に目を通しておき、授業で学習することをあらかじめ理解しておくこと。

【授業】　始業までに教科書・ノート・筆記用具を準備し、授業がすぐ受けられるようにしておく。
板書をただ写すだけでなく、先生の話をよく聞き重要なポイントを聞き逃さない。

【復習】　その日のうちに、授業でやった内容を自分の力でもう一度解いてみる（繰り返しが重要)。
わからないこと・難しいことはそのままにせずに早いうちに解決すること

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	・場合の数と確率 場合の数	集合の要素の個数　場合の数 順列	4	
	5	確率	組み合わせ 事象と確率		
	6		確率の基本事項		
	7		独立な試行の確率		
第2学期	9		条件付き確率		
	10		期待値		
	11	・図形の性質	三角形の辺の比		
	12		三角形の外心・内心・重心 チェバの定理　メネラウスの定理		
第3学期	1		円に内接する四角形 円と直線　２つの円		
	2				
	3				

【理科　シラバス】

科目名	生物基礎			使用教材	教科書	新編　生物基礎（数研出版）
学　年	1	単位数	2		副教材	リード light 生物基礎（数研出版） フォトサイエンス生物図録（数研出版）
科・コース	普通科　進学コース					

【授業の概要】

・日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
・観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し自然環境の保全に寄与する態度を養う。

【学習方法と授業の進め方】

① 授業は、担当者作成のプリント、教科書、図表などを使用して進めていきます。
② 板書事項をノートの写し取るだけでは定着しません。先生の説明を自分でかみ砕き反芻して理解に努めてましょう。
③ 授業内容の復習や問題演習などしっかり取り組むこと。復習が最重要です。
④ 新聞やテレビなどの科学的な話題に目を向け、興味や関心を持つように心がけよう。

【学習評価】

定期テストおよび下記の観点別評価により総合的に判断する。

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	・日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象についての観察，実験などを行うことを通して，生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	・定期考査の知識・理解に関する問題 ・課題への取り組み
②思考・判断・表現	・生物や生物現象を対象に，探究の過程を通して，問題を見いだすための観察，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，実験による検証，調査，データの分析・解釈，推論などの探究の方法が習得できている。また，報告書を作成したり発表したりして，科学的に探究する力が育まれている。	・定期考査の思考・応用問題（資料読解・論述問題） ・課題への取り組み ・観察・実験等
③主体的に学習に取り組む態度	・生物の特徴や性質、細胞・器官のはたらき、植生について興味・関心を持ち、調べたり探究活動に臨み理解しようとする態度を持っている。 ・学習内容について振り返り、日常生活や社会に活かそうとしている。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・観察・実験・発表等

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

・生物基礎は、私たちの身の回りの現象について、生物学の視点から考える教科です。そのため、身の回り・内外の世界に向けて興味関心のアンテナを立てておくことが大切です。
・コロナウイルスによる影響で、中学校時代から休校・部活動停止等、皆さんの生活は大きく変わり、「コロナ」という言葉を聞かない日は無かったでしょう。では、皆さんが「風邪」に罹ったとき、体内で悪さをしているウイルスと新型コロナウイルスは何が違うのでしょうか。そもそも、風邪症状を引き起こすウイルスは何種類くらいあるのでしょうか。今まで考えてこなかったことに関心の目を向けましょう。
・私たちの健康と、身の回りの環境について学び、「よりよく生活するための知識」を存分に吸収する気概で学びに臨んでください。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	序章　探究のプロセス 顕微鏡の使い方と顕微鏡観察 第１章　生物の特徴 1．生物の多様性と共通性 生物の多様性，生物の共通性とその由来，生物に共通する構造－細胞	探究のプロセスや手法を理解する。顕微鏡の使い方を習得する。 多様な生物にも共通性があることを理解する。多様な生物に共通性が見られる理由について理解する.	14 15	
	5	2．エネルギーと代謝 生命活動とエネルギー 3．　呼吸と光合成 呼吸、光合成、エネルギーの流れ、酵素の性質	生命活動にはエネルギーが必要であることを理解する。生命活動には ATP のエネルギーが利用されていることを理解する。 呼吸や光合成では ATP が合成されていることを理解する。生体内の化学反応が，酵素の働きによって振興していることを理解する。	14 15	
	6	第２章　遺伝子とそのはたらき 1．遺伝情報と DNA 遺伝情報を含む物質－DNA，DNA の構造	DNA の構造を理解する。DNA の塩基配列が遺伝情報となっていることを理解する。	14 15	
	7	2．遺伝情報の複製と分配 細胞周期と DNA，遺伝情報の複製，遺伝情報の分配 3．遺伝情報の発現 遺伝情報とタンパク質，タンパク質の合成，細胞の分化と遺伝情報，遺伝子とゲノム	DNA が複製されるしくみを理解する。体細胞分裂の過程で DNA が複製され，分配されることを理解する。 DNA の遺伝情報をもとにタンパク質が合成される過程を理解する。からだを構成する細胞で遺伝子がどのように発現しているかを理解する。		
第2学期	9	第３章　ヒトの体内環境維持 1．体内での情報伝達と調節 体内での情報伝達，神経系による情報の伝達と調節，内分泌系による情報の伝達と調節	体内での情報伝達が，からだの状態の調節に関係していることを理解する。自律神経系と内分泌系が，からだの状態を調節するしくみを理解する。	3	
	10	2．体内環境の維持のしくみ 体内環境の維持，血糖濃度の調節のしくみ，血液の循環を維持するしくみ	自律神経系と内分泌系のはたらきによって，体内環境が維持されていることを理解する。	3	
	11	3．免疫のはたらき からだを守るしくみ，自然免疫，適応免疫，免疫と健康	私たちのからだを守る免疫のしくみを理解する。免疫と，病気や治療法との関係について理解する。	3	
	12	第４章　生物の多様性と生態系 1．植生と遷移 植生とその成りたち，植生の遷移，植生の再生	いろいろな植生とその特徴を理解する。植生の遷移の過程と，遷移が進行する要因を理解する。	14 15	
第3学期	1	2．植生の分布とバイオーム 植生とバイオーム，世界のバイオーム，日本のバイオーム	世界各地には，多様なバイオームが成立していることを理解する。日本に分布するバイオームについて理解する。	14 15	
	2	3．生態系と生物の多様性 生態系の成りたち，生態系における種多様性，生態系における生物どうしのつながり	生態系がどのように構成されているのかを理解する。生態系の中で，多様な生物がどのように関係して，存在しているのかを理解する。	14 15	
	3	4．生態系のバランスと保全 生態系のバランス，人間生活と生態系，生態系の保全	生態系のバランスが保たれているとはどういうことかを理解する。人間生活が生態系に与える影響と，生態系の保全の重要性を理解する。	14 15	

【外国語科　シラバス】

科目名	英語コミュニケーションⅡ			使用教材	教科書	PANORAMA2（大修館）
学　年	3	単位数	3		副教材	PANORAMA2 予習・復習ノート Data Base 3300
科・コース	総合ビジネス科会計コース・情報メディアコース・経理ビジネスコース					

【授業の概要】

「聞くこと」・「読むこと」・「やり取り」・「発表」・「書くこと」の 5 領域（スキル）の力を伸ばす活動を行いながら
テキスト本文の理解を深め各レッスンの目標（Target Task）を達成できるようにします。
学習したことを踏まえ自分の考えや意見を英語で表現し,それを説明・発表する活動を通して英語で様々な表現ができるようになり学習内容の理解をより深められることを目標とします。

【学習方法と授業の進め方】

授業は新出単語・熟語の意味を確認し,文法項目の説明を加えながら内容を理解し要点をつかめるように英文を読み進めていきます。リスニングでの内容理解の確認や自分の考えや意見の英作文や発表,ペアワークやグループワークなどの活動も行います。また予習・復習ノートを使って各パートの予習や復習を各自で取り組んでもらい,さらに各レッスンのさまざまな形式のまとめ問題を解いて内容理解の確認をします。

【学習評価】

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	・各レッスンの文法項目を用いた文の意味や働きを理解し,文章の内容を理解する技能を身に付けている。 ・各レッスンの文法項目を用いた文の構造を理解し内容に関する話題について情報や考え、気持ちなどを適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。 ・各レッスンの文法項目を用いた文の構造を理解し,内容に関する話題について情報や考え、気持ちなどを適切に書いて伝える技能を身に付けている。	・定期考査の「知識・技能」に関する問題
②思考・判断・表現	・聞いた内容について書いてまとめるために,各内容について話された文章の概要や要点を捉えている。 ・読んだ内容について書いてまとめるために,各内容について書かれた文章の概要や要点を捉えている。 ・クラスメートにわかるように,内容に関する話題について基本的な語句や文を用いて情報や考え,気持ちなどを論理性に注意して話して伝えあったり伝えたりしている。	・定期考査の「思考・判断・表現」に関する問題 ・自分の意見や考えを表現している
③主体的に学習に取り組む態度	・聞いた内容について書いてまとめるために,各内容について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。 ・読んだ内容について書いてまとめるために,各内容について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。 ・クラスメートにわかるように,内容に関する話題について基本的な語句や文を用いて情報や考え,気持ちなどを論理性に注意して話して伝えあったり伝えたりしようとしている。	・授業中のペアワークやグループワークにおける発言や参加意欲・態度 ・ワークブック等の課題の提出状況

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

・事前に各パートの新出単語や熟語の意味を調べておきましょう。
・英文の内容理解に努めましょう。
・授業中のペアワークやグループワークに積極的に参加しましょう。また発表は自信を持って行いましょう。
・ワークブックやその他の課題の提出を忘れずに行いましょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	Lesson 5 Table for Two	Part 1: 物語の場面設定と登場人物について理解する。/ if/whether を用いた間接疑問の使い方を理解する。Part 2: ２人の出会いと出会った時の心情を理解する。/複合関係代名詞の使い方を理解する。		
	5	Lesson 6 Yusra Mardini	Part 3: ２人の間に起きた事件とその時の心情を理解する。/複合関係副詞の使い方を理解する。 Part 4: 物語の流れを追いながら２人の心情を想像する。/仮定法過去完了の使い方を理解する。 Part 1:ユスラさんの置かれた状況について理解する。/ 前文の内容を受ける which の使い方を理解する。	16	
	6		Part 2: 2015 年にユスラさんが経験したことを理解する。/独立分詞構文の使い方を理解する。 Part 3: ユスラさんの人生の転機について理解する。/時・条件の副詞節の使い方を理解する。 Part 4: ユスラさんの活躍の内容について理解する。/前置詞＋関係代名詞の使い方を理解する。		
	7	Lesson 7 Social Media and Communication	Part 1: コミュニケーションの方法が時代とともに変化してきたことを理解する。/ 付帯状況を表す with の使い方を理解する。Part 2: 科学技術がコミュニケーションに与えた影響を理解する。/I wish+仮定法過去の使い方を理解する。		
第2学期	9	Lesson 8 People and Robots	Part 3: オンラインコミュニケーションが人間関係や言語に与える影響について理解する。/部分否定の使い方を理解する。 Part 4: ソーシャルメディアの課題や利点について理解する。/S+V(=be 動詞)+C(that 節)の使い方を理解する。 Part 1: “robot”の語源とロボット技術の進展について理解する。/ suggest に続く that 節の使い方を理解する。	17	
	10		Part 2: セラピーロボットの役割について理解する。/動名詞の意味上の主語の使い方を理解する。 Part 3: アバターロボットとは何かについて理解する。/if 節に代わる表現の使い方を理解する。 Part 4: 将来のロボットに求められる役割について理解する。/未来完了形の使い方を理解する。		
	11	Lesson 9 All about Zoos	Part 1: 動物園の起源について理解する。/ 完了不定詞の使い方を理解する。Part 2: イマージョン展示とは何かについて理解する。/同格の that 節の使い方を理解する。 Part 3: 環境エンリッチメントについて理解する。/省略表現の使い方を理解する。Part 4: 動物保護における動物園の役割について理解する。/完了形の分詞構文使い方を理解する。	15	
	12	Lesson10 No One Is Too Small to Make a Difference	Part 1: グレタさんの活動初期の状況について理解する。/ 強調構文の使い方を理解する。Part 2: グレタさんの活動がどう広がったかを理解する。/as if+仮定法の使い方を理解する。	13	
第3学期	1		Part 3: グレタさんの主張や表現方法の工夫を理解する。/倒置の使い方を理解する。 Part 4: グレタさんの主張や具体的行動について理解する。/be＋to 不定詞の使い方を理解する。		
	2				

【保健体育科　シラバス】

科目名	体育			使用教材	教科書	MY　SPORTS（大修館書店）
学　年	３学年	単位数	２単位		副教材	なし
科・コース	総合ビジネス科					

【授業の概要】

・運動の合理的な実践を通して、体を動かすことの楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、運動能力や体力の向上を図り、自主自立を身につけた豊かな人間性の育成を重点においています。
・生涯を通して継続的に運動ができる資質や能力を育てる科目です。

【学習方法と授業の進め方】

・体育委員が集合、整列、準備運動を行います。
・授業の内容説明と健康状況の確認をします。
・個々のレベルを把握し初歩的な技術を習得します。
・ゲーム形式で行います。
・整理運動と授業のまとめをします。

【学習評価】

・スキルテストをはじめ下記の観点別学習評価により総合的に評価する。

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	・様々な種目における技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解しているか。 ・ゲームや競技会の仕方などを理解しているか。 ・基本動作や、基本となる技を作戦や状況に応じて用いてゲーム展開をしているか。	・スキルテスト ・ゲーム（簡易ゲームも含む）
②思考・判断・表現	・課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見しているか。 ・課題を解決するための練習の計画を立てているか。 ・自己や仲間の動きを分析して、良い点や修正点を指摘しているか。 ・グループ学習においてチームや自己の役割を提案しているか。	・グループ学習 ・ゲーム（簡易ゲームも含む）
③主体的に学習に取り組む態度	・主体的に取り組んでいるか。 ・フェアプレイを大切にしているか。 ・話し合う場面で合意形成に貢献しようとしているか。 ・健康、安全を確保しているか。	・グループ学習 ・スキルテスト ・ゲーム（簡易ゲームも含む）

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

・学校指定の体操服、シューズを着用してください。また、こまめに洗濯し衛生面に気をつけましょう。
・授業はチャイムと同時に始めますので、休み時間のうちに活動場所に移動しておいてください。
・見学者は授業前に申し出るようにしましょう。
・貴重品の管理をしっかり行うようにしてください。
・安全面には充分気を配りましょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	集団行動 体つくり運動、体育理論	・集合　・解散　・列の増減　・開列　・方向転換 ・行進　・行進からの方向転換　・かけ足　・複合動作 ・まとめ、評価 ・体ほぐしの運動　・体力を高める運動	3	
	5	新スポーツテスト （８種目を実施）	・50m 走　・立ち幅跳び　・ハンドボール投げ ・持久走　・握力　・上体起こし　・長座体前屈 ・反復横跳び	3	
	6	バドミントン (1)オリエンテーション (2)ストローク　応用	・学習内容の理解、安全性とマナー、ラケットの握り方 ・オーバーヘッドストローク（フォア、バック）	3	
	7	(3)ラケットワーク応用 (4)ゲーム形式	・クリアー、ドライブ、ドロップ、スマッシュ、ヘアピン ・ダブルスによるリーグ戦	3	
第2学期	9	ソフトボール (1)オリエンテーション (2)キャッチボール	・学習内容の説明、安全とマナー ・スローピッチの練習、近距離から遠距離へのキャッチボール	3	
	10	(3)守備 (4)打撃 (5)ゲーム	・ゴロ、フライの捕球練習、シートノック ・近距離でのバント、トスバッティング、フリーバッティング ・スローピッチでのゲーム	3	
	11	硬式テニス (1)ストローク (2)ボレー	・1 対 1 で向かい合い、投げたボールを軽く打ち返す ・ストレート、クロスラリー・グリップ、フットワーク	3	
	12	(3)サービス (4)ゲーム	・トス、基本的なフォーム ・ゲーム形式での練習、リーグ戦で試合を行う、審判法を学ぶ	3	
第3学期	1	卓球 (1)サービス・ストローク (2)ゲーム	・ドライブ、カットサービス、フォアハンド ・バックハンドストローク ・簡易なシングルス　・ダブルスのゲーム　・リーグ戦	3	
	2	(3)まとめ、評価	・まとめ、評価	3	
	3				

【保健体育科　シラバス】

科目名	武道（空手道）			使用教材	教科書	ＭＹ　ＳＰＯＲＴＳ　（大修館書店）
学　年	３年生	単位数	１単位		副教材	なし
科・コース	総合ビジネス科					

【授業の概要】
・空手道の歴史や特性を学び、基本的技術を身につけます。
・礼儀作法を学び、集中力を高めます。
・大きな気合いを出すことにより、表現を取り入れます。
・精神力を養い、技術と体力を高めます。

【学習方法と授業の進め方】
・始めと終わりは空手道の礼法（座礼・立礼）で黙想をし、精神統一します。
・準備運動、補強運動を行い体を温めます。
・基本技の練習、移動基本の練習を行います。
・形の練習（個人・団体）を行います。
・実戦を意識した攻撃と防御の練習を行います。
・グループ練習、発表を行います。

【学習評価】
・積極的に授業に参加しているか。
・協力して運動しているか。
・技能・体力の向上に努めているか。
・授業の内容を理解し、実践しているか。
・正しい礼儀作法・所作が出来るか。
・正確な技を身につけ、正しい形を演武出来るか。

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	・空手道の歴史や特性を理解し、武道としての礼儀作法や所作を身につけることが出来ているか。 ・基本技術を正しく習得し、目的に応じた実践が出来ているか。 ・基本技術を応用させ、正しい順序で形を覚えることが出来ているか。 ・形演武と組手実技の実践が出来ているか。	・授業の取り組み ・個人、グループ練習 ・実技テスト
②思考・判断・表現	・習得した技術を実戦的に捉え、表現出来ているか。 ・対人やグループになる練習では、お互いの動きを考察・分析しながら取り組めているか。 ・形（個人・団体）は正しい順序や技術だけでなく、表現力を取り入れられているか。	・授業の取り組み ・個人、グループ練習 ・実技テスト
③主体的に学習に取り組む態度	・空手道に関心を持ち、生涯を通じて健康な体づくりと精神を養う見方が出来ているか。 ・空手道は競技スポーツと武道の２つの概念があることを理解して取り組んでいるか。 ・授業に積極的に参加し、説明や実技例をよく聞いて観察する姿勢が出来ているか。 ・仲間やグループと協力して取り組んでいるか。	・授業の取り組み ・個人、グループ練習 ・実技テスト

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど
・学校指定の体操服を着用し、裸足で行います。時計などの装飾品は全て外してください。
・授業はチャイムと同時に始めますので、休み時間のうちに活動場所に移動するようにしてください。
・見学者は授業前に申し出るようにしましょう。
・貴重品の管理をしっかり行うようにしてください。
・健康チェックと安全面には充分気を配りましょう。
・空手道は礼に始まり礼に終わります。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	空手道の概要 礼儀作法	授業の流れ　空手道の歴史　空手道の現状 高校生としての空手道　年間練習計画 DVD 鑑賞　礼法について（座礼・立礼）	3	
	5	基本の立ち方と所作 立ち基本	閉塞立ち　結び立ち　平行立ち　八字立ち ﾅｲﾌｧﾝﾁ立ち　四股立ち　騎馬立ち　用意と直り 正拳突き　上段上げ受け　下段払い　中段内受け	3	
	6	立ち基本 発表・評価	中段外受け　手刀受け　前蹴り グループ発表　個人発表 評価	3	
	7	移動基本の立ち方と運足 移動基本 まとめ	前屈立ち（左右）　前屈立ちでの移動　回り方 順突き　逆突き　上段上げ受け　下段払い まとめ	3	
第2学期	9	移動基本 発表・評価	中段内受け　中段外受け　手刀受け　前蹴り 横蹴り（足刀）　回し蹴り グループ発表　個人発表　評価	3	
	10	形	個人形 「平安初段」の習得 グループ練習　個人練習	3	
	11	形	個人形 「平安二段」の習得 グループ練習　個人練習	3	
	12	発表・評価 組手（約束組手） 組手（約束組手応用）	個人形演武　評価 相手からの攻撃を防御して反撃（上段・中段・下段） 約束組手を連続の攻防で行う（上段・中段・下段）	3	
第3学期	1	組手（実戦技と動き） 発表	ｽﾃｯﾌﾟ ﾜｰｸ　突き技　蹴り技　ﾐｯﾄ打ち　反応 実技発表	3	
	2	まとめ・評価	まとめ	3	
	3				

【保健体育科　シラバス】

科目名	ダンス			使用教材	教科書	MY　SPORTS(大修館書店)
学　年	３学年	単位数	１単位		副教材	なし
科・コース	総合ビジネス科					

【授業の概要】

誰にでもできるダンスステップや踊りを自由に工夫することにより、生涯を通じて継続的に体を動かす資質や能力を学びます。

運動の楽しさや喜びを味わい、創造力、思考力、判断力が高められる教科です。

【学習方法と授業の進め方】

・体を使うために準備体操、柔軟を実施します。
・基本的なダンスステップの練習をし、組み合わせて踊ります。
・音楽に合わせてダンスステップの組み合わせた演技を踊ります。
・与えられたステップと音楽から各自がイメージを引き出し、置き換えて踊ります。
・手具(ボール等)を使った演技を実施します。

【学習評価】

・積極的に授業に参加しているか。
・協力して運動しているか
・技能・体力を高めているか。
・自ら課題を見つけ、解決を目指して運動の仕方を工夫しているか。

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	・正しい振りを理解し、踊ることができる。 ・新しい振りを習得することができる。 ・いくつかの振りを組み合わせて踊ることができる。 ・リズムを取りながら踊ることができる。 ・動きの名称を理解している。	実技試験 行動観察
②思考・判断・表現	・自己及び他人の振りを見て理解し、良いところや直すべき点を相手に伝えている。 ・大きく振りを見せるために動きを工夫して踊っている。 ・表情豊かに踊っている。	実技試験 評価表の提出 行動観察
③主体的に学習に取り組む態度	・安全に留意し、仲間と協力して活動している。 ・グループワークで自分から積極的に発言しようとしている。 ・積極的に振りを身に付けようと努力している。 ・創作ではグループのメンバーと協力して振りを考えようとしている。 ・時間を守り行動しようとしている。 ・出された指示に対して素早く行動しようとしている。	行動観察

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

・学校指定の体操着・シューズを着用して下さい。また、こまめに洗濯し衛生面に気を付けるようにしましょう。
・授業はチャイムと同時に始めますので、休み時間のうちに着替えを済ませ、活動場所に移動するようにしてください。
・見学者は授業前に申し出るようにしましょう。
・貴重品の管理をしっかり行うようにして下さい。
・安全面には十分に気を配りましょう。
・全体で協力して授業を進めて行きましょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	○オリエンテーション ◎現代的なリズムダンス （1）ステップの基本	・学習内容の理解 ・ボックス、クロスステップなど	3	
	5	（2）ステップの組み合わせ	・ツーステップ、ギャロップなど ・基本ステップを組み合わせて踊る ・腕や顔も動かしながら踊る	3	
	6	（3）音楽に合わせる	・組み合わせた演技を音楽に合わせて踊る ・各自がイメージを引き出しながら踊る	3	
	7	（4）発表・評価	・グループで発表 ・評価	3	
第2学期	9	◎チアダンス （1）ステップの基本	・基本的なステップを組み合わせて踊る	3 17	
	10	（2）音楽に合わせる	・組み合わせた演技を音楽に合わせて踊る	3 17	
	11	（3）発表・評価	・グループ発表 ・評価	3 17	
	12	◎新体操(ボール)	・手具の基本的な使い方 ・音楽に合わせて手具を使用する。	3	
第3学期	1	◎創作ダンス （1）注意事項	・流れの理解 ・グループ編成 ・曲の決定	3	
	2	（2）音楽に合わせ創作	・各グループ創作	3	
	3	（3）発表・評価	・グループ発表 ・評価	3	

【音楽科　シラバス】

科目名	音楽Ⅰ			使用教材	教科書	音楽Ⅱ　Tutti+(プラス)
学　年	3	単位数	1		副教材	Music note
科・コース	総合ビジネス科					

【授業の概要】

高校１年生で音楽Ⅰを週に１回履修しました。その上で更に深く研究するのが３年生の音楽Ⅰです。教科書は音楽Ⅱを使用します。音楽は、文字通り「音を楽しむ」ものです。決して「音が苦」になってはいけません。音楽をする喜び、楽しみを味わい、芸術に対する興味、関心も深めましょう。またその活動を通して人間性を育み感性を豊かにする事こそ３年の音楽Ⅰの目標です。

【学習方法と授業の進め方】

３年の音楽Ⅰの授業の中心は「歌」と「鑑賞」です。独唱曲を中心に、歌唱力を身につけ、世界の多くの歌、日本の歌に触れていきます。特に外国の歌では、イタリア語、ドイツ語の歌曲も取り上げ、原語で歌って行きます。また、教科書以外の音楽も取り入れ、楽しく歌って行きます。２学期には、映像の授業も取り入れて、充実した音響と映像設備によるクラシック、日本音楽鑑賞、オペラ・ミュージカル鑑賞等も行います。

【学習評価】

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	【知】言葉の特性と曲種に応じた発声(奏法)との関わり，曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい発声(奏法)，言葉の発音，身体の使い方、奏法などの技能を身に付け，歌唱で表している。 【知】日本語の抑揚，アクセント，リズムなどの言葉の特性及び構成上の特徴について，表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】音符の特性を生かしてリズム打ちなど演奏技能を身に付け，表現している。 【知】鑑賞において曲想や表現上の効果と音楽の構造ミュージカルオペラについての知識を理解している。	定期考査、授業中の歌唱　発表等
②思考・判断・表現	音色，リズム，旋律，強弱，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，自己のイメージをもってどのように歌うか、演奏するかについて思いや意図をもっている。 自分や社会にとっての音楽の意味や価値，音楽表現の共通性や固有性について考え，曲や演奏に対する評価とその根拠について、ミュージカルやクラシック音楽日本の能楽の良さや美しさを自ら味わって鑑賞している。	定期考査、歌唱の実技試験
③主体的に学習に取り組む態度	ドイツ語、イタリア語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的･協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 日本語の抑揚や間，語感，歌詞としてのまとまりが旋律の流れやフレーズにどのように表され，曲想を生み出しているかに関心をもつ。 リズム打ち奏法を身に付けることや技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながらリズムアンサンブル活動をすることに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的･協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 ミュージカルの表現力の発見、オーケストラの響き，ソナタ形式において主題が展開されたり再現されたりする面白さに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的･協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	音楽鑑賞のノート提出、授業中の歌唱練習観察、リズム打ち視察、ミュージカル、クラシック音楽、能楽等の鑑賞態度等

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど
音楽は、特に予習も復習も必要ありません。その代わり、週１回の貴重な時間、積極的な取り組みを期待します。音楽を理解し、愛好する心情を育むには、能動的なかかわり方が求められます。決して受身にならず、主体的な姿勢で授業に臨むことが必要です

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	美しい発声 日本の歌(1) 校歌応援歌愛唱歌	昔から歌われてきた有名な日本の歌を学習。 日本の四季を味わう曲を歌う。 校歌応援歌愛唱歌　１年を通して授業最初に歌う	16	
	5	ドイツの歌を歌おう 校歌応援歌愛唱歌	世界でも有名なドイツ語で歌う歌曲を勉強します。変わった発音、ウムラウトなど、ユーモアを含めて楽しく歌って行きます。有名な日本の歌も学習します。	16	
	6	イタリア・フランスの歌を歌おう　楽典 音楽鑑賞 校歌応援歌愛唱歌	イタリアのカンツォーネと言えば、世界を代表する歌です。また、「お-シャンゼリゼ」などもその魅力をあますことなく味わいます。また簡単な音楽の知識の学習、音楽鑑賞も行います。楽典の学習	16	
	7	世界の歌 楽典 音楽鑑賞 校歌応援歌愛唱歌	イギリス、イタリア、ドイツの歌を総合的に探究し、歌いこんでゆきます。音楽理論を学びます。クラシック音楽をわかり易く解説しバロックを鑑賞します。 楽典の学習	16	
第2学期	9	ミュージカル鑑賞　① 「キャッツ」主題歌歌唱 日本歌曲歌唱 卒業式歌 校歌応援歌愛唱歌	ミュージカル「キャッツ」の鑑賞　T・Sエリオットの詩集「キャッツポッサムおじさんの猫と付き合う法をもとに作られた猫の幻想的世界を鑑賞する。 「からたちの花」「さくらさくら」等歌う 仰げば尊し練習	16	
	10	ミュージカル鑑賞　② 「アラジン」主題歌歌唱 英語の歌唱 卒業式歌 校歌応援歌愛唱歌	ミュージカル「アラジン」の鑑賞　砂漠の王国アグラバーで貧しい暮らしを送る青年。テーマ曲の歌唱。 「イエスタディワンスモア」ポップスを歌う。 仰げば尊し練習	10	
	11	オペラ鑑賞 「トゥーランドット」 「ほたるこい」合唱 卒業式歌 校歌応援歌愛唱歌	「トゥーランドット」夜明けまでにあの見知らぬ者の名がわかるまで北京では誰も寝てはならぬ」有名なアリアを中心に勉強し、歌唱。 「ほたるこい」三重唱までできるよう練習をする 仰げば尊し練習	10	
	12	ミュージカル鑑賞 「美女と野獣」歌唱 アジアの歌「アリラン」 卒業式歌 校歌応援歌愛唱歌	ミュージカル「美女と野獣」フランスの小さな町に住む、読書好きなちょっとかわった娘、ベルを中心に歌を中心としてテーマ曲を歌唱と鑑賞。 韓国の民謡を勉強する。仰げば尊し練習	10	
第3学期	1	能の研究をしよう 卒業式歌	能「羽衣」について学習、鑑賞する。 仰げば尊し　校歌　練習	10	
	2	卒業式歌 卒業関係の歌唱	仰げば尊し　校歌　練習 「卒業写真」　他		
	3				

【商業科　シラバス】

科目名	課題研究			使用教材	教科書	なし
学　年	3	単位数	3		副教材	事例探究ワークブックビジネス編（実教出版）
科・コース	総合ビジネス科　総合ビジネスコース・会計コース					

【授業の概要】

商業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，ビジネスを通じ，地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
①商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。
②ビジネスに関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として解決策を探究し，科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
③課題を解決する力の向上を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【学習方法と授業の進め方】

講義形式や探究活動などを中心に、商業の見方や考え方を実践的・体験的に学習する。

【学習評価】

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	商業の各分野について実務に即して体系的･系統的に理解するとともに，相互に関連付けられた技術を身に付けている。	小テスト・定期考査 レポート 研究・発表
②思考・判断・表現	ビジネスに関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として解決策を探究し，科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	小テスト・定期考査 レポート 研究・発表
③主体的に学習に取り組む態度	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	レポート 研究・発表

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

商業の見方や考え方を身に付けて、社会事象を分析し、社会人として様々な課題を解決できるように学習していきます。日頃から問題意識を持っておくとよいと思います。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	第１章 新たな学びに向かって 第２章 探究メソッド基礎	変化の激しい社会に対応するため、社会に起きている事象を調査・分析することにより、よりよく生きるための基盤を学習し、その学習とビジネスとの関連を学習していきます。	17	
	5	第３章 事例・ワーク	事例をもとに、探究の方法をより具体的に学習していきます。	17	
	6	探究①		17	
	7・8	探究①	各自でテーマを見つけ、探究学習を行います。	17	
第2学期	9	探究②	各自でテーマを見つけ、探究学習を行います。	17	
	10	探究②	各自でテーマを見つけ、探究学習を行います。	17	
	11	探究③	各自でテーマを見つけ、探究学習を行います。	17	
	12	探究③	各自でテーマを見つけ、探究学習を行います。	17	
第3学期	1	まとめ	まとめ	12	
	2				
	3				

【商業科　シラバス】

科目名	観光ビジネス			使用教材	教科書	観光ビジネス（実教出版）
学　年	3	単位数	3		副教材	なし
科・コース	総合ビジネス科　総合ビジネスコース					

【授業の概要】

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して観光ビジネスの展開に必要な資質能力を育成する。
①観光ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。
②観光ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者としての科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
③ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【学習方法と授業の進め方】

①教科書を中心に学習を進めると同時に具体的な事例を取り入れ内容の理解を深める。
②実習（グループワーク・調査研究）などを通して、学習内容の定着を図る。
③地域活性化の実現を目標にプランニングを実施し、主体性を発揮させる。

【学習評価】

定期考査・レポート作成・調査・研究を実施し、総合的に判断する。

観点別評価

評価の観点	内　　容	評価方法
①知識・技能	観光に関する基礎知識から応用まで理解している。	小テスト・定期考査の実施 レポート作成（調査・研究含む）
②思考・判断・表現	観光ビジネスにおけるマネジメントを理解すると同時に、地域の実情と課題を発見し、その解決方法を探る。ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に着けている。	小テスト・定期考査の実施 レポート作成（調査・研究含む）
③主体的に学習に取り組む態度	地域活性化を適切に展開する力の向上を目指して自ら学び, 観光ビジネスにおけるマネジメントに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に着けている。	小テスト・定期考査の実施 レポート作成（調査・研究含む）

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

授業に対して積極的に参加し、自主性・協調性を発揮する。また、実践的な内容になるので授業内容をしっかりとノートに記録する。また、調査研究もあるのでクロームブックを有効的に活用する。家庭において復習をすることによって次の授業に積極的に参加できるようになるので日々の努力の積み重ねの重要性に気づく。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	観光ビジネスの概要	観光ビジネスの担い手と特徴	9	
	5	観光ビジネスの概要	観光ビジネスの動向・日本の観光政策	11	
	6	観光観光ビジネスの概要	日本の観光政策・観光ビジネスと地域	11	
	7	観光ビジネスの主な産業	旅行業・宿泊業・旅客輸送業・その他	9	
第2学期	9	観光ビジネスのマーケティング	観光ビジネスの顧客・マーケティング	9	
	10	観光ビジネスのマーケティング	観光ビジネスのマーケティング戦略	11	
	11	観光資源の発見と活用	観光資源とは・観光資源の保護と保全	11	
	12	地方自治体の観光政策 観光ビジネスと観光まちづくり	概要・実施内容 観光まちづくりとはなにか	9	
第3学期	1	観光ビジネスと観光まちづくり	観光まちづくりと地域の活性化のプロセス	11	
	2				
	3				

【商業科　シラバス】

科目名	財務会計Ⅱ			使用教材	教科書	財務会計Ⅱ（実教出版）
学　年	3	単位数	2		副教材	なし
科・コース	総合ビジネス科　総合ビジネスコース・会計コース					

【授業の概要】

商業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指します。

【学習方法と授業の進め方】

教科書を中心に学習を進めていきます。

【学習評価】

定期考査、普段点等を総合的に評価します。

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	財務会計について実務に即して体系的･系統的に理解するとともに, 関連する技術を身に付けるようにする。	定期考査
②思考・判断・表現	企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし, ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに, 会計的側面から企業及び企業の経営判断を分析する力を養う。	定期考査
③主体的に学習に取り組む態度	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び, 国際的な会計基準を踏まえた適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	授業内課題等

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

教科書等の忘れ物には気を付けましょう。
予習復習をしっかりとしましょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	1 編　財務会計の基礎概念と会計基準	財務会計の基礎概念、資産負債のアプローチと収益費用アプローチ、会計基準の国際的統合について学習します。	8	
	5	2 編　財務会計の実際	資産会計、負債会計について学習します。	10	
	6		純資産会計、損益会計について学習します。	10	
	7		リース会計、税効果会計について学習します。	10	
第2学期	9	3 編　企業活動の展開と財務会計	外貨換算会計、キャッシュフロー計算書について学習します。	10	
	10	4 編　企業結合の会計	企業結合会計、連結財務諸表について学習します。	10	
	11		持分法、連結税効果会計について学習します。	10	
	12	5 編　財務諸表の活用	財務諸表の活用について学習します。		
第3学期	1	6 編　監査と職業会計人	監査と職業会計人について学習します。		
	2	まとめ	まとめ		
	3				

【商業科　シラバス】

科目名	管理会計			使用教材	教科書	管理会計（実教出版）
学　年	3	単位数	2		副教材	なし
科・コース	総合ビジネス科　総合ビジネスコース・会計コース					

【授業の概要】

商業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，経営管理に有用な会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指します。

【学習方法と授業の進め方】

教科書を中心に学習を進めます。

【学習評価】

定期考査、普段点等を総合的に評価します。

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	管理会計について実務に即して体系的･系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けている。	定期考査
②思考・判断・表現	会計情報を活用した経営管理の方法の妥当性と課題を見いだし，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力が身についている。	定期考査
③主体的に学習に取り組む態度	適切な経営管理を行う力の向上を目指して自ら学び，経営管理に有用な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度が身についている。	授業内課題等

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

教科書等の忘れ物には気を付けましょう。
予習復習をしっかりとしましょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	1編　管理会計と経営管理	管理会計の意義と目的、管理会計と原価計算の関係について学習します。	8	
	5		標準原価計算、直接原価計算、直接標準原価計算について学習します。		
	6	2編　短期利益計画	短期利益計画と原価予測、CVP 分析と損益分岐点について学習します。		
	7		感度分析、最適セールス・ミックスの決定について学習します。		
第2学期	9	3編　企業予算	企業予算の編成、予算統制について学習します。	8	
	10	4編　責任会計と業績評価	組織構造と責任センター、セグメント別業績評価について学習します。		
	11	5編　経営意思決定と管理会計	経営意思決定の意義とタイプ、関連原価分析、設備投資の経済性計算について学習します。		
	12	6編　コスト・マネジメント	戦略的コスト・マネジメントの意義と手法、目標原価計算について学習します。		
第3学期	1		活動基準原価計算、品質原価計算、ライフ・コスティングについて学習します。		
	2	まとめ	まとめ		
	3				

【商業科　シラバス】

科目名	ビジネスマネジメント			使用教材	教科書	ビジネス・マネジメント（実教出版）
学　年	3	単位数	3		副教材	全商商業経済検定模擬問題集
科・コース	総合ビジネス科　総合ビジネスコース・会計コース					

【授業の概要】

ビジネスとは、特定の人々を顧客と定め、顧客のニーズを充足させ、顧客が抱える課題を解決する営利活動のことです。新しいビジネスを創造するためには、今までの商業の授業で学習したことを生かし、顧客や社会全体のニーズを的確にとらえることが必要となります。この授業では商業全体を概観し、さらに発展させ、新しいビジネスの創造に貢献できるような人材の育成を目指し、内容を構成します。

【学習方法と授業の進め方】

①教科書や問題集を中心に学習を進め、内容理解をしていく。
②実習などを通して、学習内容の定着を図る。
③商業経済検定の取得を目指す。

【学習評価】

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	ビジネスにおけるマネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解している。	定期考査、小テスト等。
②思考・判断・表現	ビジネスにおけるマネジメントに関する課題を発見し, ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に着けている。	定期考査、小テスト等。
③主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び, ビジネスにおけるマネジメントに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に着けている。	記述課題等

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

この科目は、知識を習得することも重要ですが、個人やグループで考え、ビジネスモデルとして確立できるよう話し合い、まとめ、発表することも大切です。
全商商業経済検定（ビジネス・マネジメント）があります。積極的に受験しましょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	1章ビジネスの創造	社会におけるビジネスの在り方や考え方、分析の方法を学習します。	9	
	5		ビジネスの機会を見つけたり、地域振興について考察したり、自分たちの生活を客観的に分析します。	9	
	6	2章ビジネスの組織化	組織としてビジネスをどのように展開していくのか、企業間取引の在り方を学習します。	9	
	7	3章経営資源のﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	企業における経営資源の調達や管理の方法を楽手します。	9	
第2学期	9	4章ビジネスの変革	変革をしているビジネスを多面的に学習し、分析し、現代のビジネスの基礎を学習する。	8	
	10		長寿企業を調べ、現代ビジネスの特徴を捉える。	8	
	11	5章ビジネスと社会	ビジネスと社会について、資金調達の観点から学習をします。	8	
	12		ビジネスと社会について考える。	8	
第3学期	1	検定対策等	検定対策等	8	
	2	検定対策等	検定対策等	8	
	3				

【商業科　シラバス】

科目名	ビジネス法規			使用教材	教科書	ビジネス法規（実教出版）
学　年	3	単位数	2		副教材	全商商業経済検定模擬問題集
科・コース	総合ビジネス科　総合ビジネスコース・会計コース					

【授業の概要】

商業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，法規に基づくビジネスの展開に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【学習方法と授業の進め方】

①講義形式
②討論やグループワーク
③動画やインターネットの活用

【学習評価】

定期考査及び授業内課題で評価します。

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解している。	定期考査
②思考・判断・表現	法的側面からビジネスに関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	定期考査
③主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び，法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	授業内課題等

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

・法律はことばや概念、解釈などが多数出てきます。一つ一つ身に付け、社会に出たときに身を守るすべとして生かしてください。
・法の概念や各法律の解釈などを中心に扱っていきます。
・クロームブックを活用し、社会事象についても触れていきます。
・2月に行われてる全商商業経済検定に挑戦します。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	第１章 法の概要	社会における法の意義や役割、概念を学習します。	16	
	5	第２章 権利・義務と財産権	法における権利・義務関係と物権、財産権について学習します。	16	
	6	第３章 財産権の変動	財産権の変動がどのような手続きで行われているのか学習します。	16	
	7	第３章 財産権の変動	財産権の変動における不法行為や時効について学習します。	16	
第2学期	9	第４章 企業活動と法規	企業活動における法の意義や役割、会社組織の構成について学習します。	12	
	10	第５章 企業責任と法規	企業責任について、労働、消費、情報の３観点で学習します。	12	
	11	第６章 紛争の解決と予防	紛争解決の手段としての法について学習します。	16	
	12	第７章 税と法規	法に定められた税について法人税と消費税の観点から学習します。	16	
第3学期	1	検定対策	検定対策		
	2	検定対策	検定対策		
	3				

【商業科　シラバス】

科目名	コンテンツの制作と発信			使用教材	教科書	情報の表現と管理
学　年	3	単位数	3		副教材	
科・コース	総合ビジネス科　会計コース　総合ビジネスコース					

【授業の概要】

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を行うことなどを通して、コンテンツ制作と発信に必要な資質・能力を育成することを目指します。

【学習方法と授業の進め方】

実習を中心にすすめていきます。コンピュータ教室のパソコンを使用し、さまざまなアプリケーションソフトウェアを用いて、作品を制作、相互に鑑賞し評価するなどの活動をしていきます。
制作と発信する際には知的財産権に配慮していきます。

【学習評価】

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	コンテンツの制作と発信について体系的･系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けている。	定期テスト、提出物など。
②思考・判断・表現	情報社会におけるコンテンツの制作と発信に関する課題を発見し，情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	定期テスト、提出物など。
③主体的に学習に取り組む態度	情報社会で必要とされるコンテンツの創造を目指して自ら学び，コンテンツの制作と発信に主体的かつ協働的に取り組めている。	授業への取組み姿勢、提出物など。

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

実習が多くあり、さまざまなアプリケーションソフトウェアを使用するので、操作方法がわからなければ積極的に聞きましょう。作品を制作する際は、創造性をはたらかせ積極的に取り組んでください。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	１章 情報社会と情報の表現	メディアと情報の表現、情報社会における情報の表現について学習します。	12	
	5	２章 メディアの特性とその表現	文字・図解による表現、音による表現について学習します。	12	
	6		静止画による表現について学習します。	12	
	7		動画による表現ついて学習します。	12	
第2学期	9		動画による表現ついて学習します。 データサイエンスとデータの表現ついて学習します。	12	
	10		情報の発信、コミュニケーションの基礎について学習します。	12	
	11	３章 情報の管理	情報の管理とドキュメンテーション、コンピュータによる情報の管理と活用について学習します。	12	
	12	実習課題	情報の保護とセキュリティについて学習します。 1・2 学期に身に付けた知識や技術を生かした課題を実施	12	
第3学期	1	実習課題	1・2 学期に身に付けた知識や技術を生かした課題を実施		
	2				
	3				